

English Reading & Writing

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野、教養教育センター		
対象学年	1	区分・時間数	講義 42 時間
期 間	通期		
単 位 数	3 単位		

・学習方針（講義概要等）

英語が世界共通語としての役割を果たしている現在、国際社会の一員として、研究者のみならず医療人が英語を使用する機会がますます増えている。このコースでは、医療と健康に関する最新の話題を英語で数多く読むことで、より効果的に内容を理解する力を伸ばすだけでなく、その背景をも深く理解する態度を養う。さらに、習得した表現を用いて、読み取った情報や自分の考えを英語で表現する練習を行なう。こうした訓練を重ねることにより、将来、英語の記事や論文を自分で読み、医療現場や国際学会などで正確な情報や自分の意見を英語で発信する技能の向上を目指す。

・教育成果（アウトカム）

英語で医療と健康科学に関する知識を習得し、論理的に英語を読む・書く能力を養うことにより、将来医学論文を読み、書くうえで必要な技能を身につけることができる。また、将来、チーム医療で役立つ適切な情報収集と提供のためのコミュニケーション能力を向上させることができる。
(ディプロマ・ポリシー：4,5)

・到達目標（SBO）

1. 英語の音声を聴いて、英文の内容を理解できる。
2. 英文を正しく音読できる。
3. 英文の内容を日本語で説明できる。
4. 医療に関する重要表現が理解できる。（☆）
5. 学習した語彙・表現を用いて、伝えたいことを英文で表現できる。

・講義日程

(矢) 東 204 2-C 講義室、東 206 2-D 講義室、東 207 2-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/11	火	3	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Introduction Unit 1: Collaboration Will Shape the Future of Health Care 1. チーム医療とは何か、またその中での薬剤師の役割について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。

					<p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. Medical Terminology の基本について学び、英語で応用できる。</p>
4/17	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 1: Collaboration Will Shape the Future of Health Care</p> <p>1. チーム医療とは何か、またその中での薬剤師の役割について理解し、英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。</p>
4/24	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 2: Effective Medication Counseling: Understanding of Patients' Needs and Feelings</p> <p>1. 患者のニーズと感情について理解し、病気の定義を英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（接頭辞 1）について学び、英語で応用できる。</p>
5/1	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 2: Effective Medication Counseling: Understanding of Patients' Needs and Feelings</p> <p>1. 患者のニーズと感情について理解し、病気の定義を英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。</p>
5/8	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 2: Effective Medication Counseling: Understanding of Patients' Needs and Feelings</p> <p>1. 患者のニーズと感情について理解し、病気の定義を英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p>

					4. コーチングにおける傾聴とは何かについて学び、自分の考えを述べることができる。
5/15	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 3: Enzyme Inhibitors 1. 酵素阻害物質について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（接頭辞2）について学び、英語で応用できる。
5/22	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 3: Enzyme Inhibitors 1. 酵素阻害物質について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。
5/29	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 3: Enzyme Inhibitors 1. 酵素阻害物質について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医師の問診義務について学び、自分の考えを述べることができる。
6/5	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 7: Understanding Medications and What They Do 1. 医療用医薬品と OTC 薬について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（症状を表す接尾辞）について学び、英語で応用できる。
6/12	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 7: Understanding Medications and What They Do 1. 医療用医薬品と OTC 薬について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。

					<p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。</p>
6/19	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 7: Understanding Medications and What They Do</p> <p>1. 医療用医薬品と OTC 薬について理解し、英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療現場で「はかる」こととその信頼性について学び、自分の考えを述べることができる。</p>
6/26	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 9: Pain: Hope Through Research</p> <p>1. 疼痛のメカニズムと薬物研究の歴史について理解し、英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（神経系・脳に関する語根）について学び、英語で応用できる。</p>
7/3	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 9: Pain: Hope Through Research</p> <p>1. 疼痛のメカニズムと薬物研究の歴史について理解し、英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。</p>
7/10	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	<p>Unit 9: Pain: Hope Through Research 前期 Review</p> <p>1. 疼痛のメカニズムと薬物研究の歴史について理解し、英語で簡潔に表現できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 分子標的薬について学び、自分の考えを述べることができる。</p>

9/4	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 12: The Immune System 1. 免疫機能と構造について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（色に関する語根）について学び、英語で応用できる。
9/11	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 12: The Immune System 1. 免疫機能と構造について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。
9/25	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 15: Types of Drug Actions 1. 薬物動態について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（消化器に関する語根）について学び、英語で応用できる。
10/16	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 15: Types of Drug Actions 1. 薬物動態について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。
10/23	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 15: Types of Drug Actions 1. 薬物動態について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 哺乳類における D-アミノ酸の役割について学び、その内容を説明できる。

10/30	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 17: Personalized Medicine 1. 個別化医療について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（薬に関する語根）について学び、英語で応用できる。
11/6	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 17: Personalized Medicine 1. 個別化医療について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。
11/13	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 17: Personalized Medicine 1. 個別化医療について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. Therapeutic drug monitoring について学び、その内容を説明できる。
11/20	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 18: From Fish to Pharmacies: A Story of Drug Development 1. 魚から医薬品開発に至るまでのプロセスについて理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（皮膚に関する語根）について学び、英語で応用できる。
11/27	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 18: From Fish to Pharmacies: A Story of Drug Development 1. 魚から医薬品開発に至るまでのプロセスについて理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。

12/4	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 18: From Fish to Pharmacies: A Story of Drug Development 1. 魚から医薬品開発に至るまでのプロセスについて理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 界面活性剤の分子構造について学び、その内容を説明できる。
12/11	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 20: Amendment to Japan's Pharmaceutical Affairs Law 1. 日本薬事法改正の目的と背景について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（医療現場で使用される略語）について学び、英語で応用できる。
12/18	月	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 20: Amendment to Japan's Pharmaceutical Affairs Law 1. 日本薬事法改正の目的と背景について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 薬学関連の重要表現について学び、英語で応用できる。
1/10	水	2	英語分野 教養教育センター	柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 多賀谷 真吾 非常勤講師	Unit 20: Amendment to Japan's Pharmaceutical Affairs Law 後期 Review 1. 薬機法について理解し、英語で簡潔に表現できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 臨床論文の読み方のポイントについて学び、実際に活用できる。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	薬学英語 1	日本薬学英語研究会 編	成美堂	2015

・成績評価方法

1. 定期試験：70%
2. 提出物（リアクションペーパーおよび小テスト含む）＋参加態度：30%

・特記事項・その他

1. 学生を3グループ（A・B・C）に分け、Aグループを柳谷、Bグループを大沼、Cグループを多賀谷が担当する。
2. 医療と健康に関する内容を扱った教科書を使用し、講義日程に示した内容で授業を進める。
3. 講義室
柳谷クラス：（矢）東 2-C 講義室
大沼クラス：（矢）東 2-D 講義室
多賀谷クラス：（矢）東 2-E 講義室
4. 事前学修及び事前学修時間
学習内容の理解を深め定着を図るために、授業範囲（テキスト・ハンドアウト）については必ず、わからない単語や表現の意味を調べ、自分なりに内容を理解してから授業に臨む。復習の際は、当日の授業内容、特に、教員が強調して説明した重要事項が理解できているかどうか確認し、疑問点は早めに解決する。事前学修の時間は最低 30 分を要する。
5. 確認テストを実施した場合は採点後に返却・解説する。また、適宜、英語のレポートを課し、添削後コメントを付して返却する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC（東芝）	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（富士通）FMV-N F 40W	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（Panasonic）R7/U7600	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（Apple）NA877J/A	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（SONY）VGC-LN52JGB	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（NEC）PC-YV22AEDAMBL6	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	PC（Apple）iMac27/3.20GHzCorei3	1	資料作成
講義	ノート型 PC（Panasonic）CF-J9/LUDDDS	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	iPod（Apple）	5	リスニング、課外自習等

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	CD /DVD プレーヤー	4	リスニング、DVD 教材視聴覚用
講義	ノートパソコン (Mac Book Air CTOZOJK)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	HD ビデオカメラ式 (Canon・M52)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (富士通・PH50/E)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (富士通・MH30/G)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	デスクトップパソコン (iMac27・ZOJN CTO Education)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (Panasonic・CF-J9LLUDDDS)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	液晶プロジェクター (SONY・VPL-EW7)	1	講義プレゼン用

多職種連携のためのアカデミックリテラシー

責任者・コーディネーター	人間科学科哲学分野 遠藤 寿一 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科哲学分野、人間科学科文学分野、人間科学科心理学・行動科学分野、人間科学科法学分野、情報科学科数学分野、物理学科、化学科、生物学科、外国語学科英語分野、人間科学科体育学分野、教養教育センター、附属図書館		
対象学年	1	区分・時間数	演習 30 時間
期 間	通期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

現代の社会では、医療技術の複雑化に対応するために、また超高齢化に伴う全人的医療ケア提供のために、専門職間の連携の重要性が増している。このため近年、医療系分野を中心に多職種（専門職）連携教育（IPE:Interprofessional Education）が広がりを見せ、複数の専門職が集い、連携・協働の質、ケアの質を向上させるために、共に学び、互いに他から学び合い、お互いについて学ぶこと、が重視されるようになってきた。

本科目は、こうした IPE に必要なアカデミックリテラシー（大学で学ぶための諸能力）の育成を目標とする。具体的には、4 学部合同の少人数グループを学びの単位とし、アクティブラーニングの要素を取り入れながら、次の二種類の能力の基盤づくりを行なう。一つは、専門知識を修得し、研究能力を身につけていくために必要な一般的学習能力（論理的思考、論理的文章作成、コミュニケーション・スキル、プレゼンテーション・スキル、情報検索スキル）、もう一つは、これからの専門職に求められる能力（医療人としての自覚、他職種の役割理解・尊重、チームワーク、役割と責任、自己主導型学習）である。

本科目の目標と内容・形態の対応関係は以下ようになる。（1）一般的学習能力の養成については、考える技術（クリティカルシンキング）、書く技術（ロジカルライティング）および入門レベルの論理学のプリントを使用して学習を行い、ディベートでは、これらの知識を踏まえてプレゼンテーション能力を養う。また図書館の施設や検索ツールを使用した図書館演習を行なう。（2）専門職に求められる能力の養成については、まず医療分野等に関するテーマについて WS（ワークショップ）を実施し、教養教育センター教員全員がチューターとなって学生をサポートし、KJ 法・二次展開を用いたグループ討議、ポスター発表を行う。次いで、iPEG（Interprofessional Education Game）を用いて、様々な医療専門職の役割や責任についての理解を深め、その後、コンセンサスワークを通じて、チームで考え、活動することの重要性を学ぶ。

（1）は単なる座学ではなく、（2）と同様自己主導型学習の要素を含み、また、（2）は（1）で学んだ事柄の実践という要素を含む。つまり、本科目の全プロセスは有機的に関連している。したがって、授業の際は（1）と（2）で学んだことの結びつきを意識しながら、参加してもらいたい。

・教育成果（アウトカム）

考える技術（クリティカルシンキング）、書く技術（ロジカルライティング）および論理学の初歩を学び、論理的な考え方や論理的な表現方法の基本を習得し、それらをディベートに応用することで、他者の発言や文章を統合的に再構成して理解したり、自分の考えを整理して分かりやすく伝えることができるようになる。またこれによって、適切な質疑応答を含むコミュニケーションやプレゼンテーションの能力が高まる。

図書館実習と文献検索演習によって、適切かつ正確な情報を検索・収集するスキルが身につく、自分の考えや表現に説得力と奥行きを与えることができるようになる。

WS、iPEG、コンセンサスワーをグループで行なうことで、医療人としての意識が高まり、他職種の役割や責任および多職種を目指す人の考え方を理解し、尊重する態度が身につく。また、チームワークの重要性の意識、各自の役割に対する責任感が培われ、チームに貢献するためには、自己主導型学習が大切であるという認識も形成される。(ディプロマ・ポリシー：5,6,8)

・到達目標 (SBO)

1. 発言(文章)に含まれる議論の構造を読み取り、隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。
2. 主張・根拠・結論を備えた文章作成ができる。
3. ディベート：1・2を踏まえたプレゼンテーションができる。
4. 論理的思考入門：論証のタイプ(演繹・推測[帰納法や仮説演繹法など])が判別でき、基本的論理関係(逆・裏・対偶・必要条件と十分条件など)を説明できる。
5. 必要な情報を図書館やインターネットを利用して収集できる。
6. 調べた情報に根拠づけができる。
7. KJ法・二次元展開を使用して問題点を抽出・整理し、解決策を考え出して、それらを分かりやすくプレゼンテーションすることができる。
8. 医・歯・薬・看護学部それぞれの職種の役割・責任を理解し、互いの立場を尊重することができる。
9. チームで考え、活動することの重要性を説明できる。

・講義日程(クラス1) (矢)西101 1-A 講義室、西105 1-E 講義室、東101 1-A 講義室、東204 2-C 講義、東206 2-D 講義室、東207 2-E 講義室、東203 マルチメディア教室、大堀記念講堂

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
C1	4/11	火	4	文学分野 心理学・行動科学分野 附属図書館	平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 司 書	図書館演習 1.図書館を有効に利用して、情報を収集し、与えられた条件に相応しい書籍を探し出すことができる。
C1	4/17	月	3	哲学分野	遠藤 寿一 教授	多職種ガイダンス 1.多職種連携とは何かを説明できる。
C1	4/21	金	3	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学科 化学	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授	ワークショップ① PBLオリエンテーション (記念講堂)とKJ法による討議(SGL) 1.KJ法を用いて問題点の抽出ができる。

				化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	
C1	4/21	金	4	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	ワークショップ② 二次元展開法による討議 (SGL) 1.二次元展開法を用いて問 題点を整理できる。
C1	4/28	金	3	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学科	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教	ワークショップ③ PBL オリエンテーション (記念講堂) と討議 (SGL) 1.問題点の解決策を提示す ることができる。

				化学科 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	
C1	4/28	金	4	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学 化学科 化学科 化学科 化学 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	ワークショップ④ ポスター作成・プレゼン準備 1.分かりやすいプロダクト を作成することができる。 2.説明すべき内容を簡潔に まとめることができる。
C1	5/12	金	3	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教	ワークショップ⑤ ポスター発表 1.討議の成果をわかりやす く説明することができる。 2.質疑に適切に回答する ことができる。

				物理学科 化学科 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	
C1	5/12	金	4	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学科 化学科 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	ワークショップ⑥ 全体講義 1.各自の作業をふりかえり、今後の課題を検証することができる。
C1	5/19	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	アカデミックリテラシー・ガイダンス 1.各自のスタディスキルの能力を自己評価することができる。 2.大学での学びに必要なスタディスキルと多職種連携の関係について説明できる。

C1	5/26	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	iPEG と文献検索演習 (2 コースに分かれて実施) 1.多様な医療専門職の役割と責任を理解し、尊重することができる。 2.必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。
C1	6/2	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	コンセンサスワーク、iPEG および文献検索演習 (3 コースに分かれて実施) 1.チームで考え、活動することの重要性を説明することができる。 2.必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。
C1	6/9	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	コンセンサスワーク、考える技術 1 および文献検索演習 (3 コースに分かれて実施) 1.チームで考え、活動することの重要性を説明することができる。 2.発言 (文章) に含まれる議論の構造を読み取ることができる。 3.必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。
C1	6/16	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	考える技術 1、考える技術 2 および文献検索演習 (3 コースに分かれて実施) 1.発言 (文章) に含まれる議論の構造を読み取ることができる。 2.隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。 3.必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。

C1	6/23	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	考える技術 2 と文献検索演習(2 コースに分かれて実施) 1.隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。 2.必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。
C1	6/30	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	書く技術 1 1.論理的な文章とは何かを説明できる。
C1	6/30	金	4	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	書く技術 2 1.主張・根拠・結論を備えた論理的文章を作成することができる。
C1	7/7	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	ディベート 1 1.与えられた主張を、論理的な構造を持つ意見として組み立てることができる。
C1	7/14	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	ディベート 2 1.相手の議論の構造を読み取り、隠れた前提や根拠を批判的に吟味して、反論を組み立てることができる。
C1	9/8	金	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	論理的思考入門 1 1.論証のタイプを判別し、基本的論理関係を説明することができる。
C1	9/15	金	1	哲学分野	遠藤 寿一 教授	論理的思考入門 2 1.科学的思考の基本となる推論のタイプを判別することができる。

・ 講義日程 (クラス 2) (矢)西 101 1-A 講義室、西 105 1-E 講義室、東 101 1-A 講義室、東 204 2-C 講義室、東 206 2-D 講義室、東 207 2-E 講義室、東 203 マルチメディア教室、大堀記念講堂

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
C2	4/11	火	4	哲学分野	遠藤 寿一 教授	多職種ガイダンス 1.多職種連携とは何かを説明できる。

C2	4/17	月	3	法 学 分 野 心理学・行動科学分野 附 属 図 書 館	廣瀬 清英 講師 藤澤 美穂 助教 司 書	図書館演習 1.図書館を有効に利用し て、情報を収集し、与えら れた条件に相応しい書籍を 探し出すことができる。
C2	4/21	金	3	哲 学 分 野 文 学 分 野 文 学 分 野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法 学 分 野 数 学 分 野 数 学 分 野 物 理 学 科 物 理 学 科 物 理 学 科 物 理 学 科 化 学 科 化 学 科 化 学 科 化 学 科 生 物 学 科 生 物 学 科 生 物 学 科 英 語 分 野 英 語 分 野 英 語 分 野 英 語 分 野 体 育 学 分 野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	ワークショップ① PBL オリエンテーション (記念講堂)と KJ 法によ る討議 (SGL) 1.KJ 法を用いて問題点の抽 出ができる。
C2	4/21	金	4	哲 学 分 野 文 学 分 野 文 学 分 野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法 学 分 野 数 学 分 野 数 学 分 野 物 理 学 科 物 理 学 科 物 理 学 科 物 理 学 科 化 学 科 化 学 科 化 学 科 化 学 科 生 物 学 科 生 物 学 科 生 物 学 科 英 語 分 野 英 語 分 野 英 語 分 野 英 語 分 野 体 育 学 分 野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教	ワークショップ② 二次元展開法による討議 (SGL) 1.二次元展開法を用いて問 題点を整理できる。

				英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	
C2	4/28	金	3	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	ワークショップ③ PBL オリエンテーション (記念講堂) と討議 (SGL) 1.問題点の解決策を提示することができる。
C2	4/28	金	4	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 三浦 康宏 助教 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 佐藤 英一 教授 小松 真 講師 小田 泰行 助教 寒河江 康朗 助教 中島 理 教授 東尾 浩典 講師 岩渕 玲子 助教 吉田 潤 助教 松政 正俊 教授 三枝 聖 講師	ワークショップ④ ポスター作成・プレゼン準備 1.分かりやすいプロダクト を作成することができる。 2.説明すべき内容を簡潔に まとめることができる。

				生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	阿部博和助教 James Hobbs教授 柳谷千枝子助教 大沼仁美助教 Jonathan Levine-Ogura助教 小山薫准教授 工藤裕子非常勤講師	
C2	5/12	金	3	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学 化学科 化学科 化学科 生物学科 生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	遠藤寿一教授 平林香織教授 三浦康宏助教 相澤文恵准教授 藤澤美穂助教 廣瀬清英講師 江尻正一教授 長谷川大助教 佐藤英一教授 小松真講師 小田泰行助教 寒河江康朗助教 中島理教授 東尾浩典講師 岩渕玲子助教 吉田潤助教 松政正俊教授 三枝聖講師 阿部博和助教 James Hobbs教授 柳谷千枝子助教 大沼仁美助教 Jonathan Levine-Ogura助教 小山薫准教授 工藤裕子非常勤講師	ワークショップ⑤ ポスター発表 1.討議の成果をわかりやすく説明することができる。 2.質疑に適切に回答することができる。
C2	5/12	金	4	哲学分野 文学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 数学分野 数学分野 物理学科 物理学科 物理学科 物理学 化学科 化学科 化学科 化学科 生物学科	遠藤寿一教授 平林香織教授 三浦康宏助教 相澤文恵准教授 藤澤美穂助教 廣瀬清英講師 江尻正一教授 長谷川大助教 佐藤英一教授 小松真講師 小田泰行助教 寒河江康朗助教 中島理教授 東尾浩典講師 岩渕玲子助教 吉田潤助教 松政正俊教授	ワークショップ⑥ 全体講義 1.各自の作業をふりかえり、今後の課題を検証することができる。

				生物学科 生物学科 英語分野 英語分野 英語分野 英語分野 体育学分野 教養教育センター	三枝 聖 講師 阿部 博和 助教 James Hobbs 教授 柳谷 千枝子 助教 大沼 仁美 助教 Jonathan Levine-Ogura 助教 小山 薫 准教授 工藤 裕子 非常勤講師	
C2	5/19	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	アカデミックリテラシー・ ガイダンス 1.各自のスタディスキルの 能力を自己評価することが できる。 2.大学での学びに必要なス タディスキルと多職種連 携の関係について説明できる。
C2	5/26	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司 書	iPEG と文献検索演習（2 コ ースに分かれて実施） 1.多様な医療専門職の役割 と責任を理解し、尊重する ことができる。 2.必要かつ適切な医療情報 を図書館やインターネット を活用して収集することが できる。
C2	6/2	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司 書	コンセンサスワーク、iPEG および文献検索演習（3 コ ースに分かれて実施） 1.チームで考え、活動する ことの重要性を説明するこ とができる。 2.必要かつ適切な医療情報 を図書館やインターネット を活用して収集することが できる。
C2	6/9	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司 書	コンセンサスワーク、考える 技術 1 および文献検索演 習（3 コースに分かれて実 施） 1.チームで考え、活動する ことの重要性を説明するこ とができる。 2.発言（文章）に含まれる 議論の構造を読み取ること ができる。 3.必要かつ適切な医療情報 を図書館やインターネット

						を活用して収集することができる。
C2	6/16	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	考える技術 1、考える技術 2 および文献検索演習 (3 コースに分かれて実施) 1. 発言 (文章) に含まれる議論の構造を読み取ることができる。 2. 隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。 3. 必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。
C2	6/23	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野 附属図書館	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師 司	考える技術 2 と文献検索演習 (2 コースに分かれて実施) 1. 隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。 2. 必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。
C2	6/30	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	書く技術 1 1. 論理的な文章とは何かを説明できる。
C2	6/30	金	4	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	書く技術 2 1. 主張・根拠・結論を備えた論理的文章を作成することができる。
C2	7/7	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	ディベート 1 1. 与えられた主張を、論理的な構造を持つ意見として組み立てることができる。
C2	7/14	金	3	哲学分野 文学分野 心理学・行動科学分野 心理学・行動科学分野 法学分野	遠藤 寿一 教授 平林 香織 教授 相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教 廣瀬 清英 講師	ディベート 2 1. 相手の議論の構造を読み取り、隠れた前提や根拠を批判的に吟味して、反論を組み立てることができる。

C2	9/8	金	1	哲 学 分 野	遠 藤 寿 一 教 授	論理的思考入門 1 1.論証のタイプを判別し、 基本的論理関係を説明する ことができる。
C2	9/15	金	1	哲 学 分 野	遠 藤 寿 一 教 授	論理的思考入門 2 1.科学的思考の基本となる 推論のタイプを判別する ことができる。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	スタディ・ナビゲーション	人間科学科		2017
参	新版 論理トレーニング	野矢茂樹	産業図書	2006
参	考える・まとめる・表現する	大庭コティさち子	NTT 出版	2011
参	理科系の作文技術	木下是雄	中央公論	1981

・成績評価方法

講義の聴講姿勢（30%）・講義内容の把握（20%）・課題への取り組み（20%）・グループ討議・活動への参加態度（30%）によって総合的に評価する。

・特記事項・その他

WS では各グループの討議や作業について、適宜チューターがアドバイスをする。また、PL（全体講義）において講評を行う。
iPEG、コンセンサスワーク、ディベートでは、指導教員が各グループの作業について適宜アドバイスし、授業終了時に講評を行う。
クリティカルシンキング・論理的思考入門では、確認テストを行い、誤答率の高い問題を重点的に解説する。
ロジカルライティングでは、レポート作成作業について、適宜アドバイス等を行う。
なお、教科書（スタディ・ナビゲーション）と各回配布される資料を用いて、事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分とする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			